

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年 6月 20日

鹿児島市長 殿



提出者

住 所 鹿児島市宇宿2丁目5番35号
氏 名 株式会社坂下組 鹿児島支店
支 店 長 野村 和義

電話番号 099-258-0171

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社坂下組 鹿児島支店
事業場の所在地	鹿児島市宇宿2丁目5番35号
事業の種類	大分類:建設業 中分類:総合工事業 小分類:一般土木建築工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日~令和7年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	4,288.012 t	全処理委託量	2,638.012 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	1,650.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	1,880.465 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への処理委託量	726.300 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

※事務処理欄

産業廃棄物(特別管理産業廃棄物)処理計画実施状況報告書 廃棄物の種類が2品目以外ある場合この表を使用してください

(お願い: 廃棄物の種類が1品目の場合でも、集計が便利になりますのでなるべくこの表にも記載してください)

数字 (t)

①	排出量	がれき類	木くず	廃プラスチック類	金属	ガラコン(※)	紙くず	汚泥	建設混合廃棄物(※)	草	コンから	アスから	石綿含有産業廃棄物	数字 (t)	
														項目	実施値
①	排出量	80.270	24.919	27.692	7.837	5.130	2.470	1498.860	70.240	0.500	1001.448	352.700	44.150	3116.216	3.116
②	自ら直接再生利用した量													0.000	1,089
③	自ら直接埋立処分した量													0.000	0
④	自ら中間処理した量							1089.110						1089.110	0
⑤	④のうち熱回収を行った量(内訳)													0.000	0
⑥	自ら中間処理した後の残さ量													0.000	0
⑦	④-⑥自ら中間処理により減量した量													0.000	2,027
⑧	自ら中間処理後再生利用した量							1089.110						1089.110	140
⑨	自ら中間処理後、自ら埋立処分した量													0.000	1,354
⑩	直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	80.270	24.919	27.692	7.837	5.130	2.470	409.750	70.240	0.500	1001.448	352.700	44.150	2027.106	0
⑪	⑩のうち、優良認定処理業者への処理委託量	6.270	23.195	23.760	1.695	5.130			68.780	0.500	10.508			139.838	0
⑫	⑩のうち、再生利用業者への処理委託量													1353.778	0
⑬	⑩のうち、熱回収認定処理業者への処理委託量													0.000	0.000
⑭	⑩のうち、熱回収認定処理業者以外の処理委託量													0.000	0.000
参考1	⑩のうち、焼却施設への処理委託量(⑩の内訳)													0.000	0.000
参考2	⑩のうち、焼却以外の中間処理施設への処理委託量(⑩の内訳)													0.000	0.000
参考3	⑩のうち、埋立処分業者への処理委託量(⑩の内訳)													0.000	0.000

※ガラコン=ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず(焼石膏ボードもガラコンで記入してください)

※建設系の廃棄物で、品目ごとの仕分けが不可能な場合は、建設混合廃棄物として記入してください。

◆ 参考1～3は、どのような業者に委託されているかを聞くものです。(⑩処理業者への委託量=参考1+参考2+参考3)

◆ mは、トンに換算し記入してください (換算計数は、市ホームページ中、産業廃棄物管理票交付等状況報告書の欄に掲載してあります。)

別添内訳書

項目	実施値
①排出量	3,116
②+③+④自ら再生利用を行った量	1,089
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分を行った量	0
⑩全処理委託量	2,027
⑪優良認定処理業者への処理委託量	140
⑫再生処理業者への処理委託量	1,354
⑬熱回収認定処理業者への処理委託量	0
熱回収認定処理業者以外の熱回収業者への処理委託量	0



自動計算 データーの場合
合入力不要

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: がれき類・木くず・廃プラスチック類・金属くず・ガラスコン・紙くず・汚泥・混合・草・コンから・アスから・石綿含有廃棄物)

有償物量

不要物等発生量

② 自ら直接再生利用した量
0

⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量
1,089

排出量
① 3,116

③ 自ら直接埋立処分した量
0

⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
0

項目	実績値
①排出量	3,116.0
②+⑧自ら再生利用を行った量	1,089.0
⑤自ら熱回収を行った量	0.0
⑦自ら中間処理により減量した量	0.0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0
⑩全処理委託量	2,027.0
⑪優良認定処理業者への処理委託量	140.0
⑫再生利用業者への処理委託量	1,354.0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

④ 自ら中間処理した後の残さ量
0

⑥ 自ら中間処理した後の残さ量
0

⑤ ④のうち熱回収を行った量
0

⑦ 自ら中間処理により減量した量

⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
2027.0

単位:トン

⑫ ⑩のうち再生利用業者への処理委託
1,354

⑬ ⑩のうち熱回収認定業者への処理委託
0

⑭ ⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量
0

⑪ ⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
140